

# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 構想概要

## 立命館大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

AIMS参加大学との間で学士課程での連携を進展させ、思考ミックスの能力を備えた学生を養成する。

### 【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学がオンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

## ■ 交流プログラムの質の保証

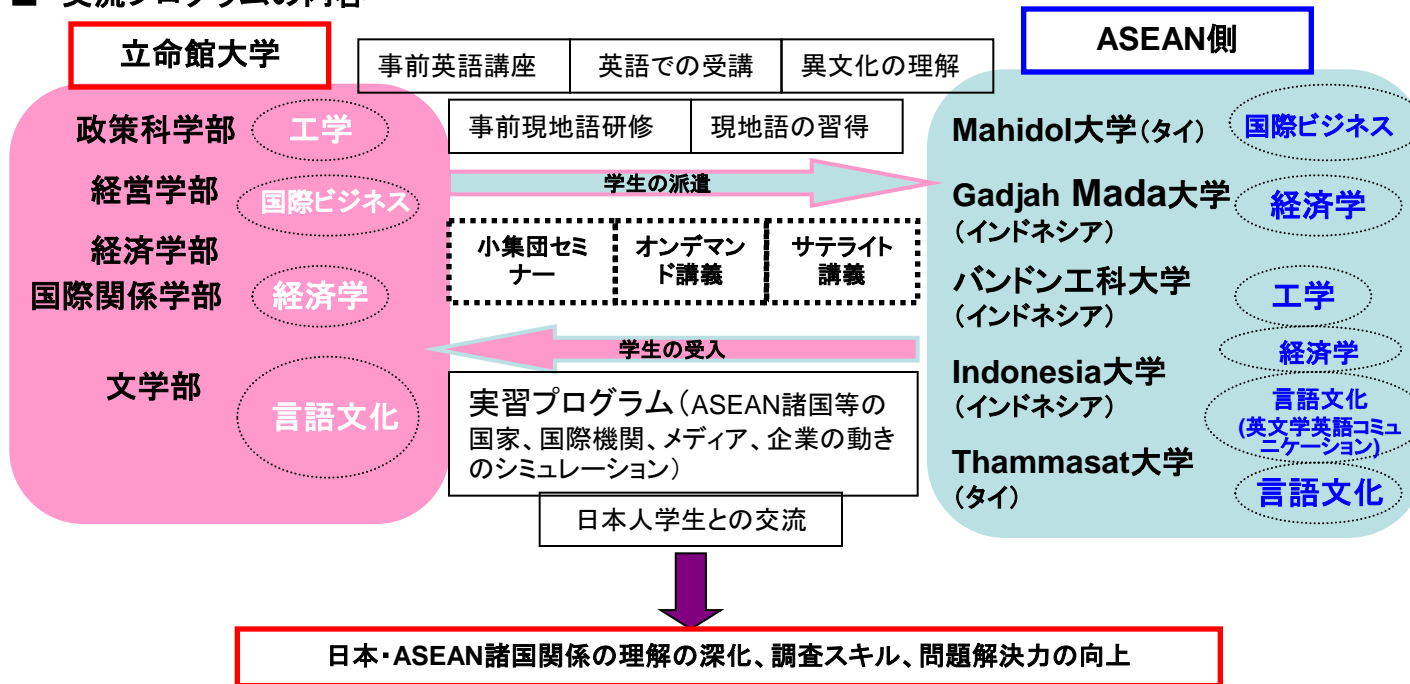
### ・ UMAPのUCTSを通じた成績管理と単位互換

既存の交換留学に関する単位互換の蓄積をもとにUMAPのUCTSを通じて成績管理や単位互換を拡大する。

### ・ 質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

## ■ 交流プログラムの内容



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	-	-	-	-	-	-	13	12	-	-	-	-	16	14	-	-	-	-	19	16	-	-	-	-	19	16	-	-	-	-
学生の受入	-						-						25						30						35					

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### ① 受入

- 英語教材を使用しての教養教育、専門教育の開設
- 全学横断カリキュラムとしての日本事情科目の開講
- 専門スタッフによる履修、生活相談
- 英語でのカウンセリング
- 学生団体による生活支援、日本人学生との交流企画

### ② 派遣

- 日本人の派遣を奨励するための奨学金の交付
- 留学中は、CAMPUS WEBIによる大学関連の情報を提供
- 派遣先大学での相談窓口の設置(現地コーディネーターの雇用)



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

## 立命館大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

AIMS参加大学との間で学士課程での連携を進展させ、思考ミックスの能力を備えた学生を養成する。

### 【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学がオンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

## ■ 交流プログラムの質の保証

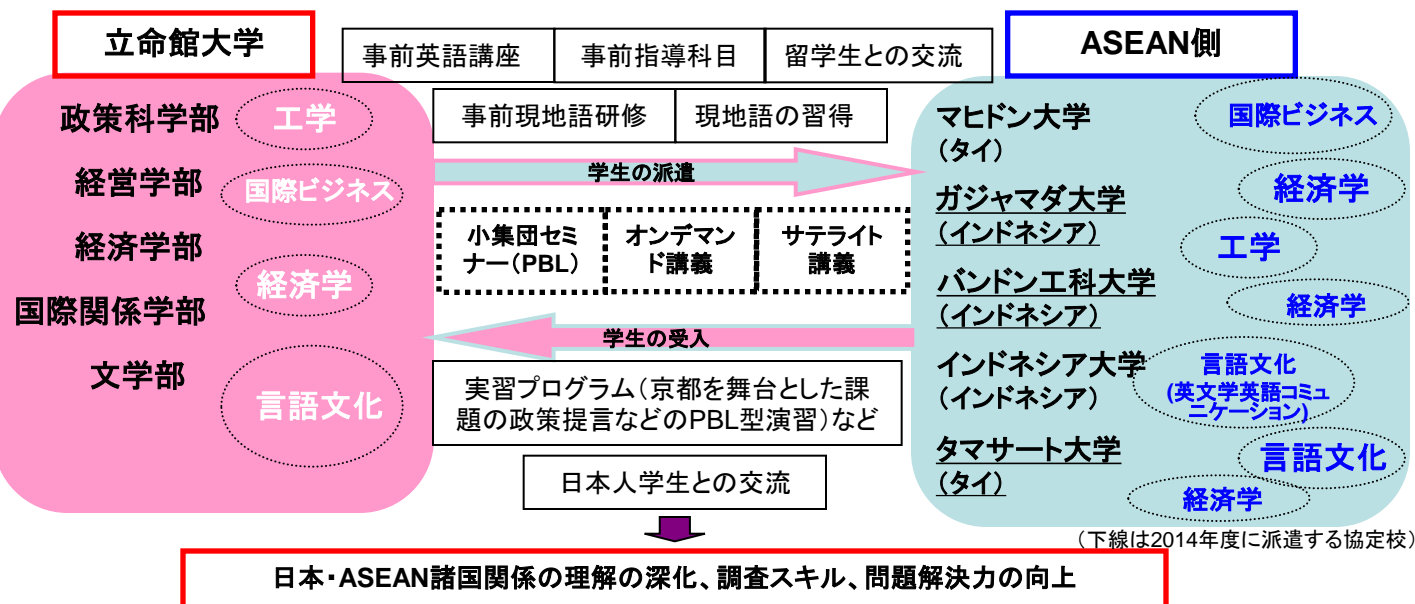
### ・ UMAPのUCTSを通じた成績管理と単位互換

既存の交換留学に関する単位互換の蓄積をもとにUMAPのUCTSを通じて成績管理や単位互換を拡大するための調整を続けている。

### ・ 質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

## ■ 交流プログラムの内容



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H25は実績、H26以降は申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	-	13	12	-	-	-	-	16	14	-	-	-	-	19	16	-	-	-	-	19	16	-	-	-
学生の受入	0						-						25						30						35					

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

H26年度については受入0名の予定であったが、タマサート大学より早期実施の強い要望があり、先行モデルとしてタマサート大学生5名の受入を開始

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### ① 受入

- 既存PBL科目の利用、協定校との短期集中型PBL演習によるPBL科目の開発
- 英語、タイ語、インドネシア語ウェブページならびに英語動画作成による本プログラムの理解を促進
- 専門スタッフによる英語での履修、生活相談
- 日本人学生との交流企画

### ② 派遣

- キックオフカンファレンス(タマサート大学、ガジャマダ大学)やPBL検討会(ガジャマダ大学、バンドン工科大学)での協定校の既存PBL科目の精選、開講
- ウェブページならびに動画作成による本プログラムの理解を促進
- 日本人の派遣を奨励するための奨学金
- 留学中のCAMPUS WEBIによる大学関連の情報提供設備の確定
- 派遣先大学での相談窓口の設置の調整



PBL演習(基本講義、現地調査、最終発表など)の例

# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要

## 立命館大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

立命館大学とASEAN諸国の学生がPBL学習として、日々新たに生起する政策課題・社会問題を共同で解決策を考えるという取組みを通じて、思考ミックス(技術思考、ビジネス思考、制度デザイン思考)の能力を備えた学生を養成する。

### 【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学が、オフキャンパス・リサーチを含む演習型授業、オンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

## ■ 交流プログラムの質の保証

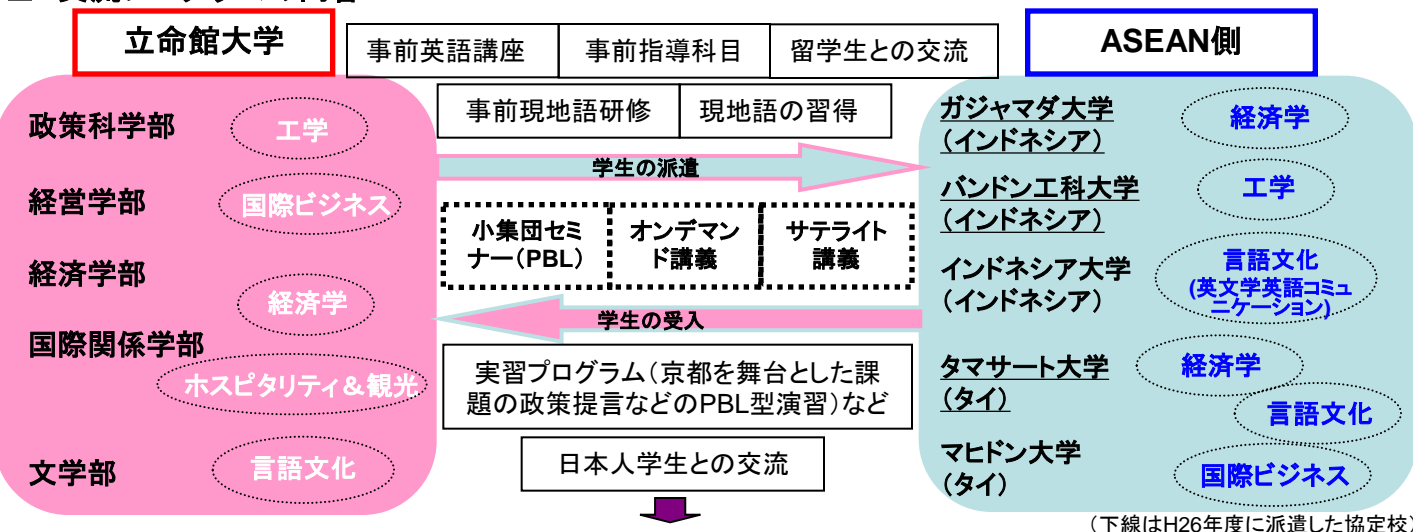
### ・評価シート(EXCHANGE PROGRAM EVALUATION REPORT)の導入

評価シートを導入し、受入および派遣における単位互換、教育の質、教員のサポート、現地コーディネータの役割等について、双方が評価し、プログラムの質の向上を目指す。

### ・質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

## ■ 交流プログラムの内容



### 日本・ASEAN諸国関係の理解の深化、調査スキル、問題解決力の向上

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H26までは実績、H27以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	12	8	0	0	0	-	16	15	-	-	-	-	19	17	-	-	-	-	19	17	-	-	-
学生の受入	0						5						26						31						36					

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

H26年度については受入0名の予定であったが、タマサート大学より早期実施の強い要望があり、計画を前倒してタマサート大学生5名の受入を実施

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### 【受入・派遣共通】

- 英語およびタイ語やインドネシア語に堪能なAIMSプログラム担当教員を3名任用し、プログラム開発や学生支援を担当
- タイおよびインドネシアに現地コーディネータを配置し、日本への留学支援および派遣先国内での学習・生活を支援
- 受入学生と派遣学生とのオープントークセッションおよび交流会を実施
- 日本語、英語、タイ語、インドネシア語でWEBサイトを公開し、本プログラムの理解を促進

### 【受入】

- 受入学生用に借上げ宿舎を確保
- 受講科目の一部のオンデマンド化をはかり、事前学習科目のVOD化のトライアルを実施

### 【派遣】

- 事前指導科目8科目を開講
- 英語運用能力向上を目指すために、言語習得センター講座の受講を支援
- 留学中に現地で面談を実施し、学習や生活状況を把握



PBL演習の例



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H27取組概要

## 立命館大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

立命館大学とASEAN諸国の学生がPBL学習として、日々新たに生起する政策課題・社会問題を共同で解決策を考えるという取組を通じて、思考ミックス(技術思考、ビジネス思考、制度デザイン思考)の能力を備えた学生を養成する。

### 【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学が、オフキャンパス・リサーチを含む演習型授業、オンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

## ■ 交流プログラムの質の保証

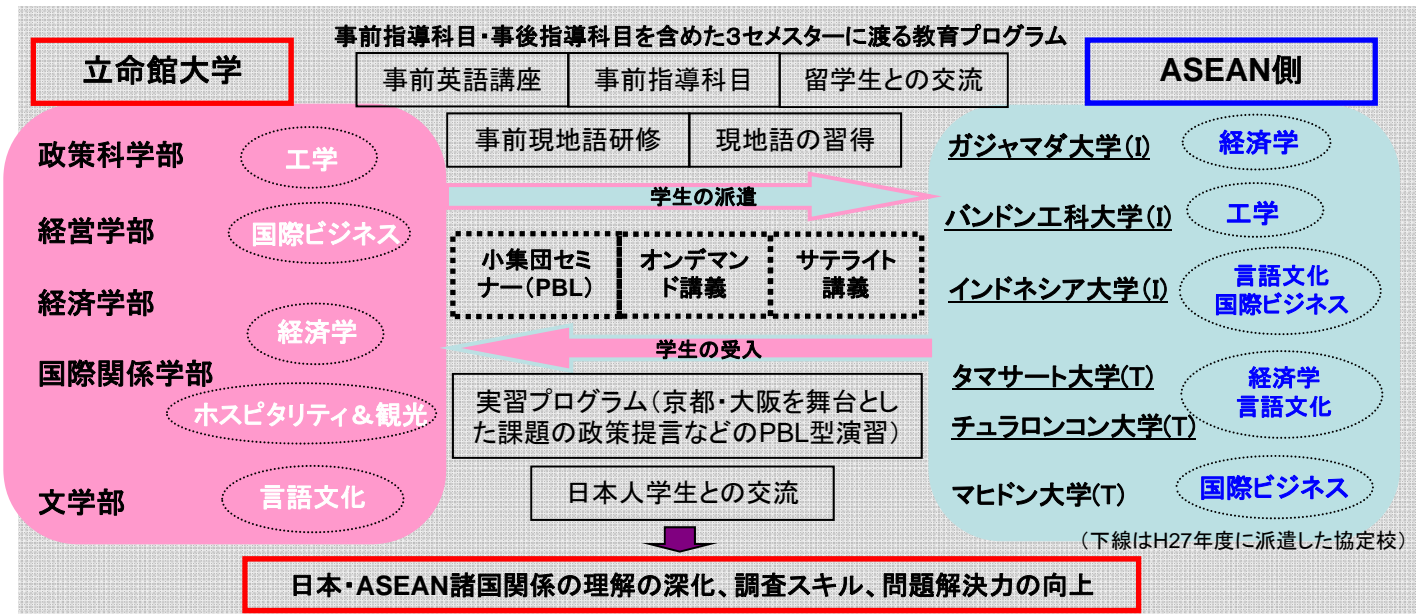
### ・評価シート(EXCHANGE PROGRAM EVALUATION REPORT)の導入

評価シートを導入し、受入および派遣における単位互換、教育の質、教員のサポート、現地コーディネータの役割等について、双方が評価し、プログラムの質の向上を目指す。

### ・質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

## ■ 交流プログラムの内容



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H27までは実績、H28以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	12	8	0	0	0	0	15	10	0	0	0	-	19	17	-	-	-	-	19	17	-	-	-
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	4	9	0	0	0	31						36					

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### 【受入・派遣共通】

- 英語およびタイ語やインドネシア語に堪能なAIMSプログラム担当教員を3名任用し、プログラム開発や学生支援を担当
- タイおよびインドネシアに現地コーディネータを各2名配置し、日本への留学支援および派遣先国内での学習・生活を支援
- 派遣学生と受入学生に加え、前年度派遣学生がともに学ぶ国際PBL科目で協働作業を行うことにより、課題把握・解決策提言能力を涵養
- 日本語、英語、タイ語、インドネシア語でWEBサイトを公開し、本プログラムの理解を促進

### 【受入】

- 受入学生に国際寮・借上げ宿舎を提供

### 【派遣】

- 派遣前学生に事前指導科目18科目を開講、派遣後学生に事後指導科目3科目を開講
- 英語運用能力向上を目指すために、言語習得センター講座の受講を支援
- 留学中に現地で面談を実施し、学習(内容および質)や生活状況を把握し、適切な指導を実施



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H28取組概要

## 立命館大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

立命館大学とASEAN諸国の学生がPBL学習として、日々新たに生起する政策課題・社会問題を共同で解決策を考えるという取組を通じて、思考ミックス(技術思考、ビジネス思考、制度デザイン思考)の能力を備えた学生を養成する。

### 【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学が、オフキャンパス・リサーチを含む演習型授業、オンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

## ■ 交流プログラムの質の保証

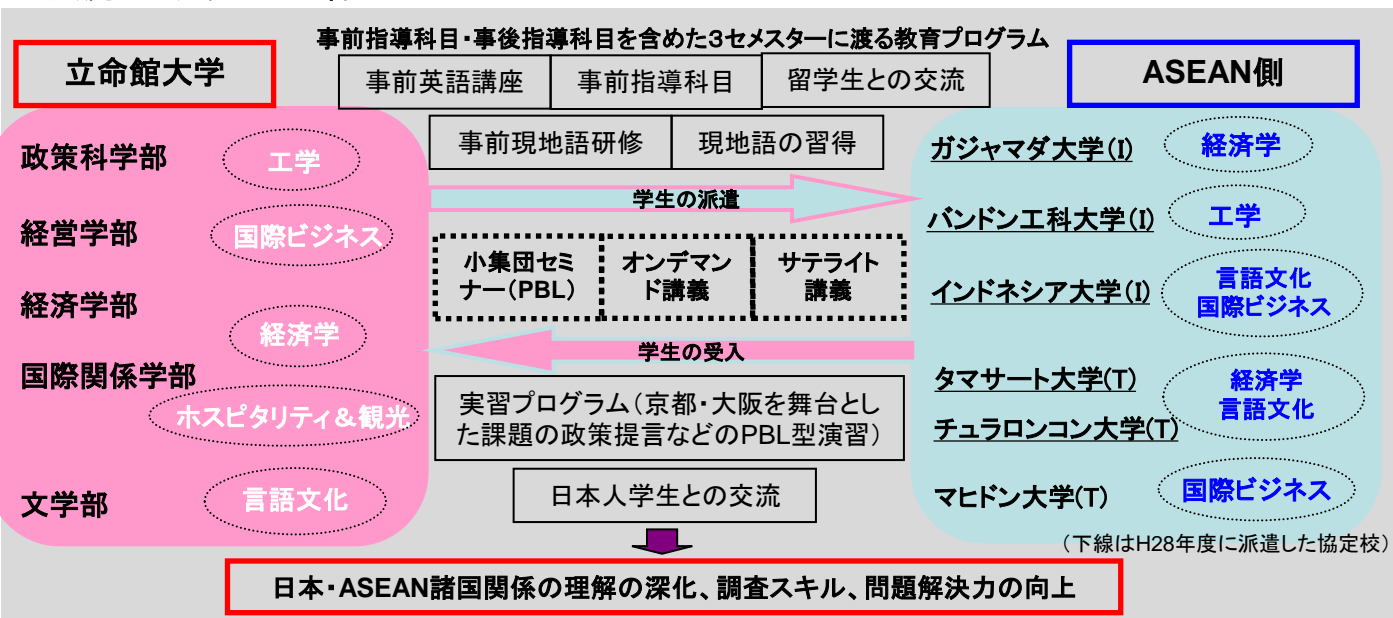
### ・評価シート(EXCHANGE PROGRAM EVALUATION REPORT)の導入

評価シートを導入し、受入および派遣における単位互換、教育の質、教員のサポート、現地コーディネータの役割等について、双方が評価し、プログラムの質の向上を目指す。

### ・質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

## ■ 交流プログラムの内容



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H28までは実績、H29以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	12	8	0	0	0	0	15	10	0	0	0	0	16	7	0	0	0	-	19	17	-	-	-	-
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	4	9	0	0	0	0	13	10	0	0	0	-	36	-	-	-	-	-

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### 【受入・派遣共通】

- 英語およびタイ語やインドネシア語に堪能なAIMSプログラム担当教員を3名任用し、プログラム開発や学生支援を担当
- タイおよびインドネシアに現地コーディネータを各2名配置し、日本への留学支援および派遣先国内での学習・生活を支援
- 派遣学生と受入学生に加え、前年度派遣学生がともに学ぶ国際PBL科目で協働作業を行うことにより、課題把握・解決策提言能力を涵養
- 日本語、英語、タイ語、インドネシア語でWEBサイトを公開し、本プログラムの理解を促進

### 【受入】

- 受入学生に国際寮・借上げ宿舎を提供、大阪茨木市民宅にてホームビジット実施

### 【派遣】

- 派遣前学生に事前指導科目18科目を開講、派遣後学生に事後指導科目3科目を開講
- 留学中に現地で面談を実施し、学習(内容および質)や生活状況を把握し、適切な指導を実施



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H29取組概要

## 立命館大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

立命館大学とASEAN諸国の学生がPBL学習として、日々新たに生起する政策課題・社会問題を共同で解決策を考えると、いう取組みを通じて、思考ミックス(技術思考、ビジネス思考、制度デザイン思考)の能力を備えた学生を養成する。

### 【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学が、オフキャンパス・リサーチを含む演習型授業、オンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

## ■ 交流プログラムの質の保証

### -効果的なオンデマンド講義へ向けた協定校との改善策の検討と実施

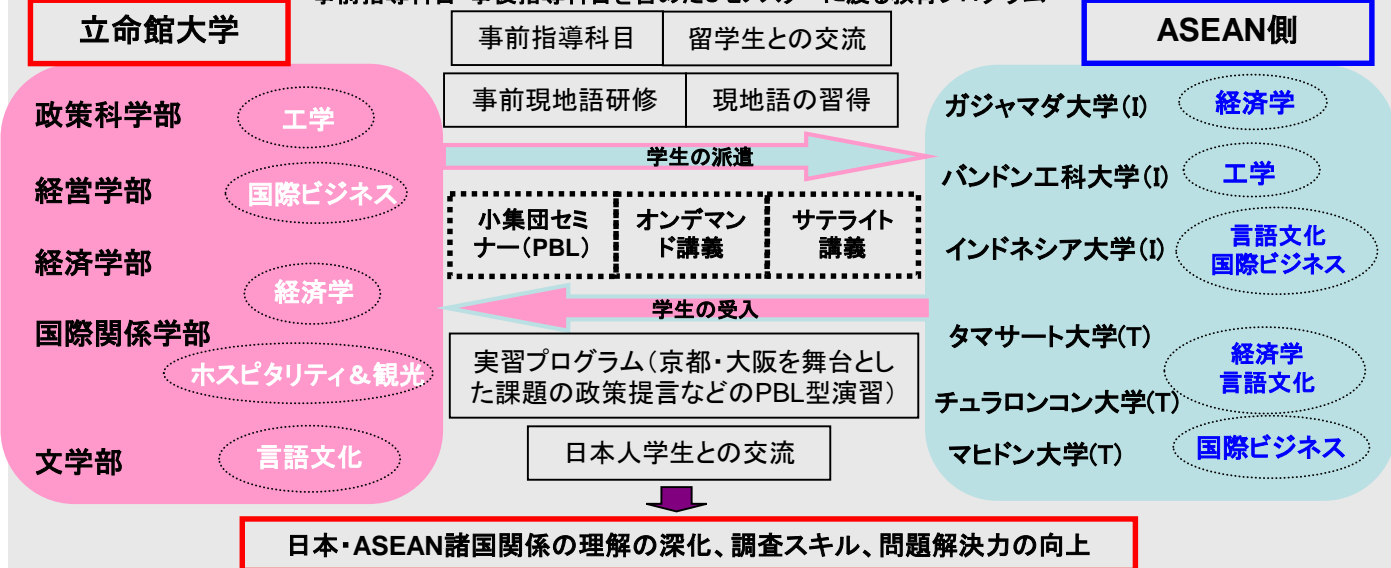
オンデマンド講義の効果的な実施にむけて協定校担当者とのオンライン・オフライン会議を頻繁に行うとともに、受講学生からのフィードバックをもとに授業形式や内容を改善している。

### -質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

## ■ 交流プログラムの内容

事前指導科目・事後指導科目を含めた3セメスターに渡る教育プログラム



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	12	8	0	0	0	0	15	10	0	0	0	0	16	7	0	0	0	0	13	10	0	0	0
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	4	9	0	0	0	0	13	10	0	0	0	0	18	8	0	0	0

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### 【受入・派遣共通】

- 英語およびタイ語やインドネシア語に堪能なAIMSプログラム担当教員を2名任用し、国際PBL科目や学生支援を担当
- タイおよびインドネシアに現地コーディネータを各2名配置し、日本への留学支援および派遣先国内での学習・生活を支援
- 派遣学生と受入学生に加え、前年度派遣学生がともに学ぶ国際PBL科目で協働作業を行うことにより、課題把握・解決策提言能力を涵養
- 前年度派遣学生や今年度派遣予定の学生がAIMSサポーターとして、生活サポートや昼食会、お花見、大学紹介などの交流企画を行い、授業外でも受入学生と日本人学生が積極的に交流

### 【受入】

- 受入学生に国際寮・借上げ宿舍(シェアタイプ)を提供し、日本人学生との交流が進んだ。
- ホームステイやホームビジットで、地域のご家庭との世代も超えた交流を図った。

### 【派遣】

- 派遣前学生に事前指導科目17科目を開講、派遣後学生に事後指導科目4科目を開講
- 留学中に現地で面談を実施し、学習(内容および質)や生活状況を把握し、適切な指導を実施

